

Finding your PLACE in lifelong learning

Guest speaker: Mr. Patrick Verbeten

今回のゲストスピーカーは、茨木で英会話講師・宣教師をなさっている Patrick さんです。

Patrick さんは、これまでも何度か IIN のイベントや例会に登場されていて、毎度、様々なテーマで私たち IIN の会員を楽しませてくださるので、会員からは親しみを込めて Pat さんと呼ばれています。

さて、本日のテーマは、「生涯学習」についてです。人生 100 年時代の到来などと言われている今、生涯学習は私たちにとって大きな意味を持つと思います。

ご趣味も多彩な Pat さん、今日はどんな話になったのでしょうか？



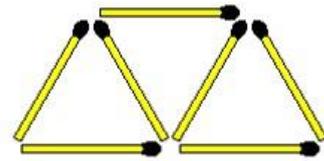
左の絵を見て下さい。誰に見えますか？若い女性、それとも年齢を重ねた女性？この絵のタイトルは、「My Wife and My Mother-in-Law (妻と義母)」。そう、どちらにも見える。このような、いわゆる騙し絵は、私たちに考えさせる。「思考」とは、生涯学習の大きな部分である。

もし私が生涯学習を定義するなら、それは、自分の人生のために新しい何かを学ぶと決める(それが意識的でも、無意識でも)、ということだ。それは、既存の教育システム(小学校、中学校あるいは大学)での義務的な学びとは全く違うものである。

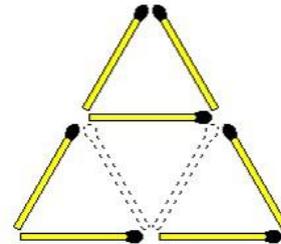
本に関する驚くべき統計から、多くの人が生涯学習をしていないことがわかる。その統計とは、

- アメリカの 42% もの卒業生が、大学卒業後に本を読まなくなる
- 2010 年、80% ものアメリカ人家庭が 1 冊も本を買わなかった
- 購入された全ての本のうち 57% が最後まで読まれない
- 2016 年、全アメリカ人のうち 24% が、本の一部さえも読まなかった

しかし重要なのは、今や本は学び方のうちの一つにしか過ぎないということだ。若い世代は、何か興味を持ったことについて学ぶ際、Youtube や SNS、そして他の情報ネットワークを使う。私は、新しいことを学習したいと決めて、それがどのような手段であっても、生涯学習になりえると考える。



例えばこのクイズ。7本のマッチ棒が3つの三角形を作っている。これを2本だけ動かして、2つの三角形にするには？そう、真ん中の2本を使えばこのように2つの三角形になる。このようなパズルも学ぶ方法の一つになることが分かったと思う。これと似たようなものは、Youtube に沢山ある。



生涯学習の歴史について見てみると、はるか大昔、初期の人類は意識せず生涯学習を行っていた。彼らは、それを Survival と呼んだ。学び続けなければ死ぬからだ。早送りをして、1950 年代初期と半ばに行こう。第二次世界大戦後、人々は完全な自由時間を得た。彼らはラジオで野球の実況を聞き、好きな歌手の新曲を聴いたりした。そして白黒のテレビを買い、大喜びで放送を視聴した。

生涯学習についてのムーブメントは 1960 年代後期から 1970 年代初期に始まった。初期の時点で、学者たちは余暇には目的が必要だと理解していた。そして生涯学習とは何かということについて多くのレポートが書かれた。今日、多くの人は自分たちが生きている限り、新たなことを学ぶのは当たり前だと思っている。

日本における生涯学習の始まりは 1949 年で、この年に社会教育法が施行された。この法律によって、国中に生涯学習センターが造られた。2006 年時には、その数は約 18000 箇所を超えるほどだった。日本は、ユネスコが 1972 年に発表した生涯学習に関するレポートを参考・実行した数少ない国で、その分野では一歩先に進んでいたが、実際に「生涯学習」という言葉を使い始めたのは 1980 年代からだった。

そもそも、学ぶこととは何だろうか？ 1996 年に、Delors Commission が作成した、教育についての4つの柱のアイデアについてのレポートがある。その4つの柱とは、

- Learning to know
(知る喜びのために学ぶ)

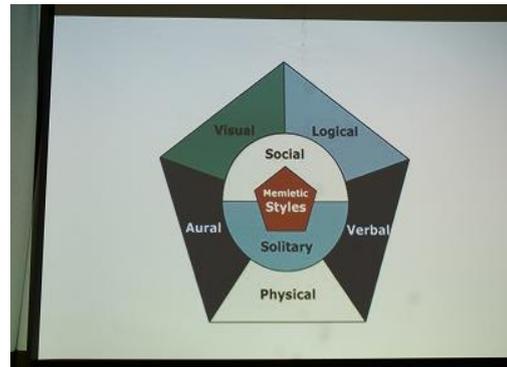


- Learning to do
(スキルアップするために学ぶ)
- Learning to be
(哲学や宗教、または個人的成長のための学習)
- Learning to live together
(共生するために学ぶ)

これが、私たちがなぜ学ぶのかということである。

では、どう学ぶのか？

教育者は諸説を唱えるが、今日は、私は7つの方法のモデルを選んだ。これには2つのアイデアのグループがある。初めは真ん中の丸の部分。他の誰かと一緒に学ぶのが好きか (Social)、一人するのが好きか (Solitary)。次に、Visual(目で見て)、Aural(聴いて)、Physical (手を動かして)、Verbal (言葉で覚えて)、そして最後は Logical (論理的な思考で)。自分がどのタイプの学習者か、テストを使って調べてみるのもいいと思う。



さて、いまや私たちは生涯学習についてたくさんのことを学んだ。では、あなたの生涯学習における PLACE を考えてみよう。PLACE は、いわゆる覚えるための頭字語である。PLACE の P は熟考する ponder を表す。これは全ての学びにおけるスタートポイントである。次に L は学ぶ learn。学ぶこととはゴールではなくて、人が生涯学習者になった際にすることである。そして A は act。確かに、純粋に楽しむために新しいことを学ぶ場合もあるが、たいてい、私たちは学んだことから何かをやってみたくなるものだ。私たちがやりたい何か—それは作ることである。それが C=create。そして最後は、自分たちが学んだことを誰かに勧める (E=encourage)。それは、今日私が行っているように、教えるという形を取るかもしれない。もしくは、あなたの好きな活動の場で、誰かに指導する形を取るかもしれない。または、さらに別の形で。自分たちの学びを追求するには、他人に勧めるということもまた、自分の生涯学習への探求になりえる。私は、あなたたちに自分自身の PLACE を考えてみてほしい。• Ponder • Learn • Act • Create • Encourage
あなたは熟考して、学んで、行動して、創造して、そして勧めていますか？



スピーチ後、テーマが生涯学習ということもあり、今日は何か新しいことを学んで帰ろうと、Patさんがそれぞれ課題・課題の詳細を各グループに配り、皆で楽しく課題をこなしました。とあるグループは、ダンスを踊り、またあるチームは英語の早口言葉や、英語俳句等々…制限時間一杯まで笑いの絶えない楽しいレクチャーをありがとうございました！